

大地のめぐみを未来へつなぐ

KOSHERU



2017

6

JUNE
No.40



特集◎ 第3回通常総代会

～持続し続けるいわて平泉農業を目指して～



散歩日和：鳥海山 龍門寺 (大東町鳥海)
(関連2ページ)

 JAいわて平泉 広報誌

「山門」

散歩日和物語

参道を進むと、荘厳な重層門が迎えてくれます。山門両脇には、体長8尺(2.4m)の金剛力士像(仁王像)が安置されています。この仏像は参詣する方々や寺院をさまざまな災いなどから守っています。



CONTENTS

散歩日和
「鳥海山 龍門寺」 2

特集
「第3回通常総代会
～持続し続けるいわて平泉農業を目指して～」 4

エリアニュース
「トップブランドを願い県知事が田植え」他 9

こしえるびと
「藤野 寿美さん(千厩町奥玉)」 12

営農情報
「新規就農ワンストップ相談窓口を開設」他 14

こしえる情報
・家庭菜園「ハクサイ」 16
・こしえる辞典大地の恵みクッキング
「春の彩り漬け」 19

インフォメーション
「JAバンクサマーキャンペーン2017」他 20

こしえる Space
・Ja小町「武田 麻華さん(花泉町油島)」 22
・二人三脚「熊谷 和夫さん・和子さん夫婦(一関市萩荘)」 22

もぐもぐ
「コロンブスと共に大海へ」 24

散歩日和

今月の表紙 ● 鳥海山 龍門寺 (大東町鳥海)

鳥海山龍門寺は、現在地にあった真言宗高野山派のお寺を廃して、曹洞宗寺院に改宗したと伝えられています。改宗後も長い間、長福寺と称していましたが、享保年中(1716～36)に開基した城主の戒名にちなみ、龍門寺と寺名を変えています。それは、時の九代将軍家重公の幼名が長福丸であったため改めたと安永風土記に記されています。庇護者であった開基家の滅亡により一時期隆盛を失いますが、文化年中(1804～18)に檀信徒一同の寄進により、本堂及び伽藍の新築がなされ現在に至ります。



住所：一関市大東町鳥海字古戸前3

スマホをかざすと動画が見られます。

スマホで動画ARのマークが付いた表紙の写真にスマートフォンをかざすと、子どもたちの動画が見られます。

「App Store」または「Google Play(Playストア)」から専用アプリ「marcs(マークス)」をダウンロード(無料)します。アプリ起動後、写真にかざすと動画が見られます。
 < 動画配信期間 H.29.6.10 ~ 29.8.9 >

▲この二次元コードからもダウンロードできます。 ※一部端末では正常に動作しない場合がございます。



◎だいすきなひと
妹の珠月ちゃん(3)と弟の龍絃くん(2)。ときどきけんかするけどこれからも一緒に遊ぼうねと笑顔の花月ちゃん。

たまて かづき
玉手 花月ちゃん(6)
興田小学校1年

外で遊ぶのが好きでシーソーが大好きな花月ちゃん。将来の夢はアイドルになることです。

◎なかよしKid's

しもかわら
下川原 なつめちゃん(6)
興田小学校1年

学校で算数の勉強が好きななつめちゃん。将来の夢はケーキ屋さんになることです。

第3回通常総代会

～持続し続けるいわて平泉農業を目指して～



平成28年度事業の成果 剰余金1億円を「経営安定対策積立金」に

剰余金処分の概要

1. 当期末処分剰余金	304,644,800 円
2. 任意積立金取崩額 (固定資産圧縮積立金)	1,951,354 円
計	306,596,154 円
3. 剰余金処分額	180,000,000 円
(1) 利益準備金	30,000,000 円
(2) 任意積立金	150,000,000 円
(内 経営安定対策積立金 ※1)	(100,000,000 円)
(内 税効果調整積立金 ※2)	(50,000,000 円)
4. 次期繰越剰余金	126,596,154 円

資産の状況 (単位:千円)

資産の部合計	155,794,011
負債の部合計	146,581,592
純資産の部合計	9,212,418

収支の状況 (単位:千円)

事業総利益	2,821,997
事業管理費	2,808,346
事業利益	13,650
税引前当期利益	76,014
当期剰余金	126,608

単体自己資本比率

16.00%

※1 農家経営並びに組合経営の安定及び健全な発展を図るため、会計基準や資産の償却等への対応をはじめ、農畜産物価格の急激な下落対策等予測し難い諸リスクに備えるため10億円を目標に今後積み立てしていくものです。今回の加算で6億円の積み立て金額となります。
 ※2 税効果会計による繰延税金資産(法人税の前払部分)の取り崩しに充てるため繰延税金資産相当額を目標に積み立てを行うものです。



議長を務める藤原幸夫氏(左)と佐々木亨氏

主な質問と意見要望

Q. 財務の中の事業利益が平成28年度まで減少している。平成25年と比較すると約半減しているがどのような理由からか。

A. 供給金額においては、東京電力福島第1原発事故による放射能被害賠償にかかる代替粗飼料供給の本格収束、天候不順による園芸品目の出荷量減少、飼料用作物・飼料用米の面積拡大に伴うコスト低減資材利用等もあって前年対比、計画対比とも減少しました。

Q. 28年度は降雪や台風による災害でハウスの倒壊被害があった。危機管理対策が必要ではないか。

A. 災害時の対策を十分に検討する必要があると考えています。今後、行政や関係機関と危機管理

対策基金の創設などについて協議していきたいと思えます。

Q. TACの活動状況はどのようになっているか。

A. 現在は課題の訪問と次ぎおり、経営相談

J Aは第3回通常総代会を5月26日、一関文化センター大ホールで開催しました。提出した10議案について賛成多数で可決。平成29年度は、新たな3カ年計画に基づき自己改革を進め組合員、地域住民のよりどころとして10年先も20年先も親しまれ、信頼されるJ A作りを目指して取り組みます。

佐藤鉦一組合長が総代会にあたり「合併して3年が経ち、28年度は黄金の郷づくり推進対策事業を柱とした地域農業の振興と、総合事業展開によるくらしの活動支援等による地域貢献を目指して事業展開してきた」と振り返りました。29年度については本年度からの3カ年は将来に向けた新たなJ A作りの重要な年となるとし「J A自己改革に向けて年度ごとの行動計画や数値目標を定め進捗管理しながら取り組むとともに、持続し続けるいわて平泉農業、いわて平泉ブランドの確立と黄金の郷づくりに取り組んでいく」と決意を述べました。



あいさつをする佐藤鉦一代表理事組合長

決議された議案

総代数691人 出席総代数607人
 (本人出席412人、委任状出席10人、議決権行使書面提出185人)

- 第1号議案 定款の一部変更
- 第2号議案 規約の一部変更
- 第3号議案 全国農業協同組合連合会が行う農業経営事業に関する同意
- 第4号議案 平成28年度事業報告及び剰余金処分案の承認
- 第5号議案 役員を選任
- 第6号議案 第2次中期経営計画並びに第2次農業振興計画の設定
- 第7号議案 平成29年度事業計画の設定
- 第8号議案 平成29年度経費の賦課及び徴収方法の決定
- 第9号議案 平成29年度理事に支払う報酬の額の決定
- 第10号議案 平成29年度監事に支払う報酬の額の決定

特別決議

J A自己改革の実践に関する事項



活発な質問と意見が交わされました

や経営改善までの対応は少ない状況です。TACの資質向上を図るとともに、関係部署が連携を強化し対応していきたいと思えます。

Q. 平成30年から政府による米の生産数量目標の配分と米の直接支払交付金が廃止されることへの対応はどのように考えているか。

A. 県農業再生協議会が県産主食用米の需要量を国の作柄や民間在庫の情報に基づき算定し、市町村別の主食用米の生産量の目安を算定。それに基づき、地域農業再生協議会が認定方針作成者と協議を行い、単年度の地域水田活用計画を作成する方向で検討をしています。J Aグループとしても国に要望を出し、地域の特徴ある農業の展開をどのようにしていくか検討しながら対応していきたいと思えます。

要望…来年度の作付け計画に影響があるため、米の生産数量目標の配分を、早めに生産者に示してほしい。
要望…グリーンヘルパーの確保、技術向上をしてほしい。

平成29年度事業計画

平成29年度は、あらためて協同組合の価値と存在意義、JAがこれまで果たし、支えてきた地域農業、地域社会での機能と役割を再確認しながら、JAの持てる組織力、結集力、総合力を発揮する中で地域農業・農村の抱える諸課題の解決を進めるため、組合員、地域の皆さまにお役立ちできるように次の事項を重点事項として事業計画を樹立し、地域農業の振興、暮らしやすい地域づくりに向け事業を展開します。

1. 農業
農家組合員の所得増大と農業生産の拡大

消費者の信頼に応え、安全・安心な農畜産物を供給する持続し続けるいわて平泉農業の確立に向け、「黄金の郷づくり推進対策事業」などを通じて担い手の育成と組合員の農業所得確保・増大に取り組みます。

2. くらし
地域の活性化と結びつきの強化

食と農を基軸に、総合事業を通じて地域の生活インフラの一翼を担い、地域に根ざした協同組合の確立とくらしの活動の展開で地域との結びつきの強化に取り組みます。

3. 経営
組合員に評価される組合経営

自ら取り組むJA改革の推進と組合員・地域住民との結びつきを深め、財務基盤の強化と健全な経営基盤の確立で、信頼される協同組合としての存立に取り組みます。

第2次中期経営計画・農業振興計画達成に向けて

総代会の中で第2次中期経営計画・第2次農業振興計画が承認されました。

JAは組織や事業、組合員からの要望などが多様化するなかで、黄金の郷づくり推進対策事業とくらしの活動の展開で「持続し続けるいわて平泉農業」「食と農を基軸とした地域に根ざした協同組合」の確立へ向け、次の重点施策の達成に全力を尽くしてまいります。

◆農業

〔重点施策〕 農家組合員の所得増大と農業生産の拡大

「魅力増す農業・農村」の創造による地域の活性化に向け、「選択」と「集中」を基本とした意識改革のもと、組合員に対して所得増大とより安い生産資材供給を本分とし、組合員とともに組織・事業を改善しつつ「選ばれるJA」「結集できる拠点」を目指し、部門間連携による担い手支援の強化を図ります。

高齢化等により生産者が減少する中で、関係機関と連携し新たな担い手を確保・育成するとともに、補助事業等の活用で意欲ある担い手の規模拡大を支援します。畜産においては、生産コスト低減支援として公共牧場の機能を充実し周年利用を推進し、生産性の高い畜産経営に向けた生産基盤の強化に努め、繁殖及び肥育の一貫生産体制を推進します。

◆くらし

〔重点施策〕 地域の活性化と結びつきの強化

《信用部門》しっかりと農業を支える農業メインバンク

●新役員紹介

第5号議案が承認され新しい理事が選任されました。



総務管理担当
小野寺 キイ子 理事
(平泉町平泉)

組合員等表彰受賞者 (敬称略)

総代会の席上、JA事業に多大な貢献をされた特別功労者と優良農家組合長に感謝状を、地域農業の振興に取り組み優秀な成績を収めている優良組織に表彰状が佐藤組合長から手渡しました。

○特別功労者 (退任農家組合長)

- 金 誠紀 大東町渡民
- 小野寺 勘平 大東町猿沢
- 佐々木 昌夫 花泉町花泉
- 佐藤 嗣郎 大東町曾慶
- 小山 謙次郎 大東町大原
- 佐藤 壽朗 一関市舞川
- 佐々木 利夫 一関市殿美町
- 小野寺 光雄 一関市狐禅寺
- 岩淵 祐一 一関市弥栄
- 鈴木 勇 一関市殿美町
- 佐藤 伸一 花泉町浦津
- 及川 佐久良 大東町中川
- 千葉 一 一関市舞川
- 長田 昌 一関市秋庄
- 佐藤 茂 一関市殿美町
- 千葉 勝衛 花泉町老松
- 千葉 隆之 花泉町浦津
- 那須 宏 東山町長坂

○優良農家組合長 (退任農家組合長)

- 小野寺 兵吾 一関市弥栄
- 和賀 正 東山町松川

○優良組織

- 農事組合法人 アグリパーク舞川 一関市舞川
- 農事組合法人 とぎの森ファーム 千厩町小梨



特別決議
自己改革の実践に邁進

組合員および役員は、従来以上に「自己改革の必要性や農協法5年後検討条項に対する認識を共有のうえ、より一層のスピード感と危機感を持って次の事項に取り組んでいくことを決議しました。

1. 正・准組合員を対象とした総合事業の展開により、第2次中期経営計画並びに第2次農業振興計画をスピード感を持って着実に実践する

2. 農業者の世代交代時期であることを踏まえ、「農家組合員の所得増大」「農業生産の拡大」を重点に取り組む

3. 全組合員・役員間で情報および危機感を共有する

4. これまでの自己改革実践の成果を踏まえ、組合員および役員一体となり、自己改革の実践に邁進する



特別決議を提言する
佐藤幸子女性部長

ク機能の強化により、農業者の所得増大や経営相談等の支援、地域利用者への一層の貢献に資する生活メインバンク機能の強化を図り、利用者満足度の向上と地域利用者の拡大に努めます。また、顧客ニーズの多様化に即した営業体制の強化等、施策実践を支える業務基盤の強化と人材開発、事業推進の前提となる健全性の確保に努めます。

《公共部門》 組合員・地域住民に選ばれ、信頼されるJA共済を目指し、全戸訪問活動(3Q訪問)を基軸に次世代層とのつながりを深め、お客様のニーズに対応した「ひと・いえ・くるま」の万全な保障提供を行い、地域のくらしと生活を守り、安心と満足を提供していく活動を実践します。

《経済部門》 地域の食文化の継承と健全な食生活の実現を通じ、地域に根ざした食農教育を展開し、生活に密着した事業の提供により、安心して暮らせる豊かな地域づくりや結びつきの強化を図るとともに、組織の活性化に積極的に取り組んでまいります。

◆経営
〔重点施策〕 組合員に評価される組合経営

地域の特徴と組合員等利用者ニーズの変化を踏まえ、意思決定の迅速化と効率的な機能発揮及び専門性の強化を確保できる機構の構築に努めます。

職員の業務遂行能力の高位平準化のため、高度・専門的な知識・技能を持った人材の育成・確保とともに、コミュニケーション能力の強化で組合員・利用者の満足度の向上に努めます。

総合損益計画

(単位:千円)

	基準年度		第1年度		第2年度		第3年度	
	H 28年度実績		H 29年度実績		H 30年度実績		H 31年度実績	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
事業総利益	2,821,997	95.5%	2,695,025	99.5%	2,682,236	99.2%	2,660,847	99.2%
信用事業総利益	876,771	80.9%	709,200	98.7%	700,000	97.0%	679,000	97.0%
共済事業総利益	1,065,340	96.2%	1,025,000	99.2%	1,017,000	99.3%	1,010,000	99.3%
購買事業総利益	607,150	99.1%	601,771	99.7%	599,697	99.3%	595,520	99.3%
販売事業総利益	222,579	98.1%	218,277	100.3%	218,943	101.6%	222,345	101.6%
農業倉庫事業総利益	60,499	120.9%	73,143	101.7%	74,411	101.6%	75,603	101.6%
利用事業総利益	165,865	138.4%	229,546	101.0%	231,900	102.9%	238,574	102.9%
宅地等供給事業総利益	15,000	119.7%	17,958	101.7%	18,265	103.2%	18,855	103.2%
その他事業総利益	88,404	84.3%	74,523	98.4%	73,343	100.6%	73,773	100.6%
指導事業収支差額	△ 279,615	-	△ 254,393	-	△ 251,323	-	△ 252,823	-
事業管理費	2,808,346	94.8%	2,662,037	100.2%	2,668,681	96.8%	2,582,885	96.8%
事業利益	13,650	241.7%	32,988	41.1%	13,555	575.2%	77,962	575.2%
経常利益	124,316	104.4%	129,778	85.0%	110,316	158.4%	174,733	158.4%
税引前当期利益	76,014	170.7%	129,778	85.0%	110,316	158.4%	174,733	158.4%

TOPICS

エリアニュース

地域の話

トンネル内の温度管理に注意を



JAなす生産部会は5月18、19の両日、ナス現地指導会を管内3会場で開きました。

計画的な早期摘果で果実肥大を



JAりんご部会は5月18、19の両日、りんご現地指導会を管内13会場で開きました。

トップブランドを願い 県知事が田植え



金色の風を栽培する3JA（いわて平泉、岩手ふるさと、江刺）の栽培研究会は5月8日、達増拓也岩手県知事による田植え式を行いました。

ほ場を観察し予防散布をしっかりと



JAねぎ部会は5月1、2の両日、管内2会場で指導会を開きました。

おいしい野菜作りを学ぶ



JA女性部東山中央支部は5月19日、(株)渡辺採種場の高橋秀行さんを講師に野菜作り講習会を開きました。

平泉ワイナリー誕生



農事組合法人アグリ平泉は4月27日、平泉町産のりんごを使ったシードルの販売を開始しました。（写真は道の駅平泉にて）

良品出荷に向け意識統一



JA花き部会切り花・鉢物専門部は5月16日、スターチス出荷規格目揃え会を行いました。

とまとジュースが大人気



JAは5月7日、一ノ関駅東口橋上通路で開かれた駅マルシェに出店し、管内農産物のPRを行いました。

テーマは「西行法師と東稲山の桜」



(農)アグリ平泉は5月27日、「第9回ライス・アートinひらいずみ」を開催。約200人が参加。下書きに沿って4種類の古代稲の苗を植えました。

おしゃれな寄せ植えが完成



JA女性部室根中央支部は5月25日、第1回女性部教室を開き、花き農家の畠山修一さん(室根)を講師に寄せ植え講習会を行いました。

新人職員が体験で地域農業を学ぶ



今年JAに入組した新採用職員12人は5月中旬の4日間、農業研修を行い田植えなど作業に汗を流しました。

第2次農業振興計画

第2次農業振興計画では、「黄金の郷づくり推進対策事業」を継続することで生産基盤の維持拡大を引き続き実践し、「農業者の所得増大」、組合員と消費者の期待に応える安全・安心な農畜産物の安定供給に向けた「農業生産拡大」に集中的に取り組み、食と農を通じた地域コミュニティの創造による「地域の活性化」を図ります。

また、新たな担い手の確保・育成を関係機関と連携することで更に強化し、国・県が実施する農業政策に対し、組合員の所得確保を第一義とした提案を実施します。

部門別重点事項

1. 担い手部門

- ①「地域営農ビジョン」の策定および地域実践活動に対する支援
- ②集落営農組織の設立の推進・育成、法人化の手続等事務支援
- ③新規就農者・認定農業者等多様な担い手の確保・育成
- ④担い手サポートセンター運営による担い手との関係強化
- ⑤平成30年産以降の米政策の見直しおよび収入保険制度の対応

2. 米穀部門

- ①食の安全・安心への取り組み

- ②米穀共同乾燥施設の利用拡大
- ③新品種「金色の風」、「銀河のしずく」への取り組み
- ④独自販売を拡大し、生産者手取り向上への取り組み
- ⑤夏川地区カントリーエレベーター建設によるJAいわて平泉米の販売強化



昨年のトップセールスの模様

3. 園芸部門

- ①重点品目を中心とした園芸品目の生産拡大
- ②重点市場及び重点販売先への対応強化
- ③安全で安心な「いわて平泉ブランド」の確立
- ④効率的な集出荷体制の構築

4. 畜産部門

- ①中核農家の規模拡大と生産基盤の整備
- ②生産性の高い経営体の育成
- ③多様な労働力を活用した労力軽減と担い手育成支援
- ④営農指導と連携した改良と増殖の推進
- ⑤安全・安心の確保と販売促進活動

5. 生産資材部門

- ①集落営農組織・担い手経営体への「出向く体制」の強化
- ②営農指導、各生産部会との関係を密にし、予約購買の推進と資材の安定供給

販売品販売高計画

(単位：千円)

	品目	H28実績	H29計画	H30計画	H31計画
米穀	米類	4,522,757	4,624,471	4,648,100	4,708,372
	穀類	117,002	76,350	76,504	78,570
	合計	4,639,759	4,700,821	4,724,604	4,786,942
園芸	野菜	1,445,606	1,567,545	1,650,805	1,709,625
	花き	442,909	464,040	486,540	514,040
	果樹	245,008	281,430	281,958	282,219
	菌茸	25,992	32,040	35,480	40,360
	養蚕	8,818	11,000	11,000	11,000
	合計	2,168,334	2,356,055	2,465,783	2,557,244
畜産酪農	生乳	1,519,899	1,463,760	1,404,000	1,404,000
	和牛子牛	2,563,886	2,371,400	2,289,000	2,219,000
	肥育牛(黒毛)	1,210,524	720,000	648,000	648,000
	肥育牛(その他)	138,650	84,000	80,000	76,000
	成牛市場	336,779	257,850	244,900	239,100
	鶏卵	10,600	7,560	7,560	7,560
肥育豚	52,868	39,000	39,000	39,000	
合計	5,833,206	4,943,570	4,712,460	4,632,660	
総合計		12,641,301	12,000,446	11,902,847	11,976,846

笑顔あふれる農業体験

おいしくなれ!



愛心幼稚園

佐々木弘さん(花泉)らの指導で5月8、22の両日、サツマイモの苗などを植えました。

たくさんのお米ができてほしい



滝沢小

田んぼ所有者の蜂谷艸平さん(滝沢)とJA一関青年部真滝支部の指導で5月8日、田植え体験を行いました。

「農産地中里」をテーマに学習



中里小

JA一関青年部中里支部の指導で4月27日、種もみの芽出しや育苗を学びました。今年はバケツ稲の栽培に挑戦しています。

生きもの調査なども予定



平泉小

JA平泉青年部とJA職員の指導で5月16日、田植え体験を行いました。

種まきから頑張りました



金沢小

佐々木弘さん(花泉)など地元農家、JA花泉青年部金沢支部、JA職員の指導で5月12日、田植え学習を行いました。

水稻育苗から学ぶ



巖美小

地域の農家やJA職員の指導で5月10日、田植え学習を行いました。

10年間の取り組み



清田小

小学校統合前最後の田植え体験を5月17日、全校児童39人と保護者も参加して行いました。

バケツ直播に挑戦



藤沢小

JA藤沢青年部 高橋賢志さんの指導で5月17日、バケツ稲の種まきをしました。

メダカ田んぼに田植え



川崎小

JA川崎青年部とJA職員の指導で5月16日、田植え体験を行いました。

コシヒカリのお米が楽しみ



赤荻小

田んぼ所有者の阿部邦弘さん(赤荻)、地域ボランティア、保護者、JA職員の指導で5月23日、田植え体験を行いました。

泥の感触、気持ちいい!



東山小

田んぼ所有者の高橋宏藏さん(東山)、JA東山青年部、JA職員の指導で5月23日、田植え体験を行いました。

元気に育って!



一関小

ほほえみ、たんぼ組の児童6人が5月22日、バケツに「ひとめぼれ」の苗を植えました。

出荷規格の確認をする部会員



促成キュウリの規格確認で良品出荷へ
JAきゅうり部会出荷規格指導会

JAきゅうり部会は4月28日、促成キュウリの出荷規格指導会を花泉町の永井野菜集荷場で開き、これから出荷が本格化する促成キュウリの規格を確認し意識統一を図りました。また、同部会では病害虫の判別を分かりやすく掲載したオリジナルの冊子に関係機関と協力して発行。部会員全員に配布し効果的で効率の良い防除で収量アップを狙います。



草取りをする女性部員

特養で草取りのボランティア

JA女性部一関中央支部真滝支部

JA女性部一関中央支部真滝支部は4月28日、特別養護老人ホーム明生園で草取り作業のボランティアを行いました。部員27人が参加し、施設入口から続く花壇の草取りや植木の剪定作業に汗を流しました。同支部の小岩泰子副部長は「先輩方が続けてきた活動を今後も継続し、地域に一つしかない施設の手助けになればうれしい」と話しました。

広い草地でのびのびする牛



預託牛放牧スタート

JA運営の公共牧場



夏季放牧を安全祈願

JAが管理運営する一関市の公共牧場の夏季放牧が本格的に始まり、安全祈願祭を室根高原牧野で5月1日、須川牧場で2日に行いました。JA、市、農家などが出席し畜産振興と安全な運営管理に誓いを新たにしました。室根高原牧野放牧互助会長の及川公志さん(大東)は「家では搾乳作業が忙しいので預けられるのは助かる。良い環境の中で丈夫に育てほしい」と期待を込めました。



出荷規格の確認をする部会員

生育好調、病害虫防除の徹底を

JAピーマン部会出荷規格目揃え会

JAピーマン部会は5月18日、出荷規格目揃え会を開きました。これから本格化するピーマンの出荷規格を確認し、良品生産に向けた今後の管理に理解を深め、信頼される産地づくりに決意を新たにしました。JA園芸課の菅原真一職員は「産地の信用をさらに高める様に、選別をしっかりとし、病害虫被害果を混入させないように」と注意を促しました。

高い志のもと、日々「キラリ」と光る活動をしている人たちがいる。
「黄金の郷“いわて平泉を支える、魅力溢れる”こしえるびと」のメッセージをシリーズで紹介していく。

農家と消費者、 JAが共に支える農業

千厩町奥玉
藤野 寿美さん

新たな挑戦

まばゆい日差しが照りつける広大な小菊畑。お盆の出荷に合わせ定植した小菊の苗が一面に広がる。2・5ヘクタールの転作田を活用し、藤野寿美さんは小菊栽培を営んでいる。

酪農から転換し始めた小菊の栽培は一からのスタートだった。40代半ば。「人生まだまだこれから」と自分を奮い立たせ、無我夢中だった。改めて経営について学んだのもこの頃。JAいわてグループや県、岩手大学でつくるいわてアグリフロンティアスクールを受講し、「現状を維持するだけで



は先細りになる。5年先、10年先を見据え、目標を高く設定して取り組む」ことを教わった。

人との出会いとつながり

寿美さんの向上心やチャレンジ精神と一緒に働く仲間にも伝わり、作業の改善点や経営について、提案されることもある。共に高め合える仲間がいることを心強く感じている。

今までは先輩の背中を追いかけて、いろいろな



これからの小菊栽培

ことに挑戦しながら成長してきた。最近さまざまな場で年下の若い農家と関わる機会が増え、自分が追いかけられる立場になったと実感している。「若い農家の話から新たな気付きや元気がもらえる。これからは、やる気のある若者を支え、共に成長していきたい」。

「私にはお金で買えない宝がある」と寿美さん。今まで出会った人たちのおかげで今の自分がある。人に支えられ助けられてきたことに感謝が尽きない。だからこそ、農業と農家の理解者を増やし、消費者にも農業を支えてもらうことがこの先必要だと強く感じている。そのため、情報発信や農業体験の受け入れにも力を注ぎ、異業種との連携も模索している。

JA花き部会小菊専門部の部長を務める寿美さんは、常に先を見つめている。需要期がお盆と彼岸に限定される小菊は、いかにその時期にいいものをたくさん出荷できるかで売り上げが左右される。産地情報をいち早く市場に届けるなど、売れる販売戦略づくりを生産者とJAが共に考え汗をかく必要があるのではないかと。専門部の充実と生産者の栽培技術の向上、後進の育成に力を入れながら、産地一丸となった取り組みを進めていきたいと決意を新たにしている。

——先輩方が培ってきた栽培技術や地盤を若い世代につなげたい。自分がそうしてもらったように。

PROFILE

藤野 寿美さん (58)

Sumi Fujino

千厩町奥玉

1959年千厩町奥玉生まれ。千厩高校、酪農学園大学短期大学部を卒業後、家業の酪農経営に携わる。2005年に酪農から小菊栽培に転換。現在、小菊250aを作付け、JA花き部会小菊専門部長を務める。両親、長女夫婦、孫2人(3歳、6カ月)と7人暮らし。



私の一品

手帳

探し求めてやっと出会えた手帳。1日1ページになっており、予定やその日あったことなどを書き込み、スケジュール管理や振り返りができる。手帳に書くことで、さまざまなことを整理するのに役立っている。





新規格300gで販売

JAIわて平泉の「金色舞」

J Aは、管内産米の新規格として300g袋を導入しました。1回の食事での消費量が少ない少人数の家庭などを考慮し、これまでの規格よりも小さいサイズを用意しました。地域の消費者に加え、道の駅平泉で観光客のお試しパックとしての活用も想定し新規の顧客開拓に期待を込めます。

お手頃サイズの金色舞



消費者と田植え交流

都”里夢米生産振興協議会

一関市蔵美町山谷地区で5月28日、同地区の米生産者と生活クラブ生協岩手が田植え交流会を行いました。地元「都」里夢米生産振興協議会(佐々木守美代表)の主催で毎年開かれ、生活クラブ生協岩手の組合員や家族、地元農家や関係機関など約60人が参加。9aの水田にひとめばれの苗を手で植えながら交流を深めました。



協同の力で田植えを終えました

家族連れも参加しにぎやかに田植え体験



効果的な電気柵の設置方法と注意点

近年、野生動物による農作物等への被害が増えています。今回は電気柵の基本的な設置方法と注意点をお知らせします。



◎通電の良い場所に設置する

地面の乾いた場所や通電性のない地面(コンクリート、アスファルトなど)の場合、動物に電流は流れません。そのような場合は、柵を少し田畑の内側に設置するか、トタン板を敷くなど通電させる工夫が必要です。

◎傾斜地から離して設置する

電気柵を飛び越える場合があるので傾斜地から2m程度離して設置しましょう。

◎漏電防止の草刈りをする

草が電線に触れていると電圧が低くなります。バッテリーや電池も早く消耗します。

◎柵のそばの藪をなくす

藪は動物の隠れ家になります。柵の外際3m程度の刈り払いを行います。

◎周囲を隙間なく囲う

動物は隙間を探し侵入しようとします。田畑の周囲をすべて囲うように設置しましょう。

◎動物の鼻先の高さに電線を張る

動物の体には固い毛があるため、鼻先や肉球などにしか電流は流れません。電線は動物の鼻先の高さに1本張り、潜り抜けないようにさらに下に張る必要があります。

◎地面のくぼみは電線でふさぐ

地面のくぼみは電線を追加するなど隙間を必ずふさぎましょう。

◎電圧テストをする

電圧テスターを用い、複数の場所で電圧のテストをします。少なくとも4,000V程度の電圧が必要です。

◎定期的に点検し、補修、維持管理を行う

定期的に電圧チェックを行いましょう。落ち枝等で破損していないかも確認します。地形によっては、電流が流れていても地際から侵入している可能性があります。定期的に点検し安全な使用を心掛けてください。



電気柵についての問い合わせは、JA各営農経済センターまで



農業に必要なノウハウを学ぶ就農希望者(⑥奥)

新規就農ワンストップ相談窓口を開設

一関地方農林業振興協議会

一関地方農林業振興協議会は、新規就農者の支援強化を図るワンストップ相談窓口を開きました。今年度初回となる5月10日は、管内で就農を考える男性2人がJA西部営農振興センターで相談を行いました。相談員を務めたJA営農振興課の藤野秀一課長は「農業を始めるに当たり、さまざまな不安があると思う。就農希望者が前に踏みだせるように関係機関が一体となり準備から経営開始、経営計画達成まで継続的にバックアップしていく」と話しました。

相談窓口は、毎月第2水曜日に奇数月はJA西部営農振興センター、偶数月はJA東部営農振興センターで午後1時30分から開催予定。希望者は開催日の3日前までにJA、一関農業改良普及センター、一関市農政課、平泉町農林振興課のいずれかに連絡し申し込みが必要です。

地産地消の強化に向けた

いわて南牛振興協会総会、懇談会

一関市、平泉町、JA、JA肥育牛部会で組織するいわて南牛振興協会は5月22日、総会と懇談会を開きました。2017年度も地産地消を拡大するためのPR事業を展開するほか、首都圏の枝肉購買者との懇談会を行うなど知名度の向上と農家の生産意欲を高め産地の強化を図ることを確認しました。懇談会の中で課題とされている県内供給体制の確保策としてJA肥育牛部会の佐々木賢治部会長が「試験的に月2頭を目安として県畜産流通センターに出荷し地元店のいわて南牛肉確保に協力したい」と話しました。

知名度向上に意欲を示す会長の勝部修一関市長



「安全・安心・高品質」の生産、出荷に努めます

なす生産部会販売推進会議

J Aなす生産部会は5月23日、販売推進会議を開き部会代表者と出荷市場7社が出席しました。産地の状況や出荷計画を確認し今年度は出荷数量計画18万9千箱、販売平均単価を1433円/箱を希望すると伝えました。市場側から高品質で好評だが安定供給してほしいと要望がありました。千葉昭義部会長は「消費者ニーズに合わせた出荷形態の対応も検討する」と意欲を示しました。

良質生産を誓い高単価販売を要望



指導員紹介

畜産課 和牛繁殖担当 佐々木 崇徳

人も一人ひとり違うように、牛も血統などさまざまな要因で個体差があります。牛を見る目を養い、日々勉強し、購買者が求める牛づくりのために適切なアドバイスができるように頑張ります。



格付	雌			去勢			上物率 (格付4等級以上)
	枝重(kg)	単価(円)	販売額(円)	枝重(kg)	単価(円)	販売額(円)	
J A 5等級	450	2,544	1,164,305	512	2,617	1,340,970	85.0%
4等級	454	2,343	1,064,728	483	2,316	1,118,040	
3等級	449	2,089	938,334	491	1,974	968,997	
2等級							

販売頭数40頭

JAいわて平泉集荷月間最高販売牛 血統紹介

*雌の部 徳悠翔 × 第1花国 × 安平 A 4 509 kg 単価 2,599 円
*去勢の部 美津照重 × 義平福 × 北国7の8 A 5 571 kg 単価 2,800 円

和牛枝肉販売成績 5月

畜産情報

支所	雌				去勢				合計	
	頭数	高値	安値	平均価格	頭数	高値	安値	平均価格	頭数	平均価格
	一関	19	951	490	676,933	25	1,007	517	768,614	44
花泉	37	920	546	706,495	39	1,061	585	877,708	76	794,354
平泉	9	870	528	690,720	5	935	750	836,136	14	742,654
千厩	21	921	558	696,651	30	1,130	598	880,704	51	804,918
藤沢	5	923	620	781,704	14	1,035	181	839,546	19	824,324
大東	26	960	540	703,080	36	1,247	718	890,130	62	811,690
東山	9	775	589	665,640	14	1,137	739	877,346	23	794,504
室根	11	793	599	698,662	17	983	657	850,976	28	791,139
川崎	7	870	357	611,897	7	895	566	742,269	14	677,083
合計・平均	144	960	357	694,418	187	1,247	181	854,499	331	784,857

※黄色の網掛けはベスト1の支所。(単位:円、ただし高値・安値は千円) 税込のみです。

5月市場の最高販売額の血統構成
雌 父:隆之國 母の父:安福久 祖母の父:平茂勝(大東)
去勢 父:美津照重 母の父:百合茂 祖母の父:安福久(大東)

県南子牛市場 5月11日

今月は
ハクサイ

ハクサイは漬け物・キムチ・鍋物と、食卓には欠かせない野菜です。くせがなく、甘みのある葉は煮る、炒める、蒸すなど調理法もいろいろ。ビタミンCやミネラルを多く含み、さまざまな料理にも合うので、ぜひ挑戦してほしい野菜です。

【作型】

早まき栽培 8月1日～8月10日
生育期が高温のため、管理の難しい作型です。

耐暑性があり、病害に強い品種を選びます。

標準まき栽培 8月15日頃

結球期が生育適温となるので栽培しやすい時期です。

冬どり栽培 8月20日頃
目的や用途に応じて品種を選びます。

播種期が重要で、早いと過熟になりやすく、遅いと不結球になるので注意して下さい。

耐寒性の品種を選び、厳寒期前に囲い、貯蔵します。

【種まき・育苗中の管理】

①種まき用培土を使用し、発芽までは日除けして地温30℃を超えないようにして下さい。

【追肥・中耕】

定植10日後と20日後頃に速効性肥料を施し、同時に中耕すると追肥の効

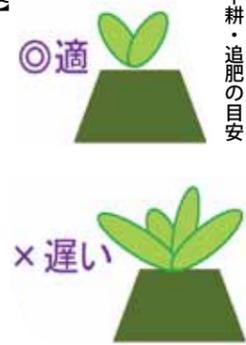
晴天無風の日を選び、極端な深植えや浅植えは活着不良となるので注意しましょう。

【畑の準備】

排水良好な畑を選び、定植の1週間前までに施肥・畑作りをします。完熟堆肥・苦土石灰・化成肥料を施し、良く耕します。うね幅75cm、株間45cmの単条植えが栽培しやすいです。

③128穴のセルトレーの育苗期間は、16～18日が最適です。育苗期間の後半10～14日以降は、できれば屋外で育苗し風や夜露に当て苗を締めます。

中耕・追肥の目安



果が高まり、雑草防止と排水、風対策になります。

監修 ● (株) 渡辺採種場

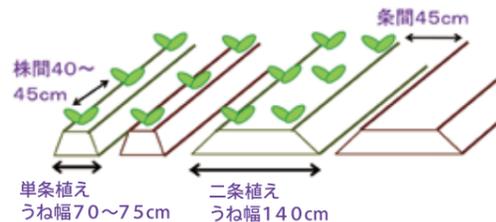
【収穫】

球の頭をおさえて、固く締まっていれば収穫時期です。冬どり栽培では、12月上旬頃収穫します。外葉を付けたまま抜き上げ稲わら等で囲います。

お薦め品種

- ・早まき栽培
- ・夏の祭典
- ・黄愛65
- ・標準まき栽培
- ・秋の祭典
- ・黄愛75
- ・冬どり栽培
- ・仲秋
- ・冬の祭典
- ・黄皇85

※種子のお問い合わせは、JA各営農経済センターまで。



Recipe

白菜の“さっぱり”中華風即席漬け



- ① ハクサイは葉と軸にわける。葉は3～4cm位のざく切り、軸は2～3cm長さの拍子木切りにし、塩をふって軽く揉み、しんなりしたら水気を絞る
- ② ショウガ・ニンジン は2～3cm長さの千切りにする
- ③ 刻み昆布と、①・②を良く混ぜ合わせ、漬け液に1時間くらい漬ける(すぐに食べたい時はビニール袋に入れて重しをする)

- 【材料】
- ハクサイ…………… 500g
 - ショウガ…………… 1片
 - ニンジン…………… 50g
 - 塩…………… 少々
 - 刻み昆布…………… 10g
 - 漬け液
 - 赤唐辛子1/2本(種を取り除き輪切り)
 - らっきょう酢…………… 150ml
 - しょうゆ・ごま油…………… 各大さじ2



野菜ソムリエプロ
木村 千恵美さん

豆知識 ハクサイはビタミンCやカリウム類を豊富に含んでおり、体内の老廃物を体の外に排出してくれる効果があります。

あなたもチャレンジ！ 家庭菜園



青年部上期の活動予定について

JA青年部協議会

青年部
通信



昨年の県ソフトボール大会で見事優勝をしました

JA青年部では、学習会やスポーツ大会で盟友同士の交流を深め組織活動の強化を図るために次の活動を行います。

- 6月下旬～7月上旬予定 青年部学習会
 - 7月2日(日) JA青年部協議会野球大会
 - 7月29日(土) 県JA青年ソフトボール大会
- 多数の盟友の参加をお待ちしています!

また、青年部では新しい仲間を募集しております! 青年部へは男女問わず加入できます。加入を希望される方は、お近くの営農経済センターまたは営農振興課 23-9176(西部) 75-3311(東部) までお問い合わせください。

野菜栽培のポイント学ぶ

JA女性部川崎中央支部

女性部
通信



ネギの定植を学ぶ
女性部員

JA女性部川崎中央支部は5月2日、今年度3回目の畑の講習会を開きました。農業高校の実習助手をしていた上沼清一さんを講師に、ニンジン、ネギ、サトイモなどの種まきと定植を行いました。

栽培した野菜は、JAまつりでとん汁として振る舞う他、食農教育「あぐりキッズ」の収穫体験などで使用します。今野典子支部長は「定期的に集まり作業することで連帯感が生まれ女性部の活動に良い影響が出ている。今後も畑の講習会を続けさまざまな野菜作りに挑戦したい」と意欲を見せました。

ケアコンシェルジュ



春の大運動会
「がんばるぞー!」

楽しいレクリエーション♪



蟻塚公園へ新緑ドライブ! ツツジが満開で最高!!



JAデイサービスセンター
〒029-0803 一関市千厩町千厩字境田 153-12
TEL 0191-52-5668



折り紙で手先を器用に藤の花作りに挑戦しました。

デイ・ルームが華やかに!



JAデイサービスセンター
〒021-0901 一関市真柴字原下4-1
TEL 0191-31-1538



ガッショークンがお答えします!
葬儀マナー
Q&A

初盆って何のじゅん?

A 亡くなってから初めて迎えるお盆のことです。

◎初盆に用意するもの

- ①盆棚(精霊棚)
- ②精霊馬
- キユウリで馬を、ナスで牛を模して作ります。(故人はキユウリの馬に乗って現世にやってきて、ナスの牛に乗ってあの世に帰っていくからと云われています)
- ③白提灯(盆提灯)
- 無地もしくは自家の家紋の入った「白提灯」を準備します。最近では、毎年使えるように絵柄の入った提灯を使用するケースも増えています。
- ④初盆のお返し
- お仏前を持参する方も多いので、返礼品を用意しておくといいでしょう。

不慣れなことも多いと思いますが、早めに用意して万全の態勢で初盆の供養をしましょう。





春の彩り漬け

- ① タケノコを3〜5センチ程度の食べやすい大きさの薄切りにする。ワラビも同じ長さにそろえておく
- ② 鍋にタケノコを入れ、浸る程度の水とだし昆布を入れて中火で15〜20分ほど煮る
- ③ 煮上がったタケノコをざるで湯切りし鍋に入れ、調味料Aを加える。焦げ付かないように火加減を注意しながら弱火か中火で15〜20分ほど煮て味を染み込ませる
- ④ 底から持ち上げるようにかき混ぜ、味見をして全体的に味が染み込んだら火を止めて、調味料Bとワラビ・ニンジンを加え混ぜる
- ⑤ 香り付けに調味料Cを回しかけ完成

【一口メモ】

- ・良く冷ましてから袋に小分けして冷凍保存もできます。
- ・タケノコにはシュウ酸が多く含まれているので、コンブやゴマでカルシウムを補い、シュウ酸吸収量を減らすように工夫しました。

こしえる辞典 大地の恵みクッキング



東山町松川
阿部 安子さん

■材料

- タケノコ…………… 3本
- ワラビ…………… 1束
(タケノコ・ワラビはあく抜きしたものを使います。無い場合は市販の水煮でも良い)
- ニンジン1/3本(細切りにしておく)
- だし昆布適量(10センチ位にカットしたもの)
- 調味料
A:しょうゆ、酒、みりん、砂糖…各大さじ1
B:豆板醤、キムチの素…各大さじ1(辛さはお好みで)、塩コンブ…15センチ
C:白ゴマ…適宜、ゴマ油大さじ…1

JA事業Q&A

くらしのヒント!

Q 金利以外の特典がある定期貯金はありますか?

A 年金受給者・予約者向けの定期貯金「結いの恵み」は、全国の農畜産物などがお選びいただける「ニッポンの恵み」カタログギフトが抽選で当たります。

お申し込み時と満期時の抽選となりますので、お申し込み後も満期時の抽選を楽しみにしながら貯金をしていただけます。また、カタログギフトは8,000円相当となっておりますので、金利以外の特典をお求めの方にも満足いただける商品となっております。詳しくは、JA各支店または信用渉外担当者へお問い合わせ下さい。



山目支店 信用渉外 鈴木 光

職員を紹介します

こんにちは

今月の
あんぎや!

小梨支店

です。

モットー 地域の皆さまに親切・丁寧に

常に明るく元気であり、地域の皆さまの身近な存在となり、気軽に立ち寄りたくなるような支店を目指しています。皆さまのご来店を心よりお待ちしております。

共済渉外 時田 道明 共済窓口 金野 将紀 信用渉外 菊池 亮 信用窓口 菊池 優也



信用窓口 藤本 恵里 支店長 小岩 秀明 支店長代理 加藤 美穂

あぐりジャーナル

“つくる”をテーマにJA役員がノートに綴ります

「自然育む日本」をこの地から…



常務理事
橋本 和幸
(室根)

JAが合併して早3年が過ぎました。『黄金の郷づくり推進対策事業』の効果もあり、合併以来、農畜産物の販売金額が概ね120億円となっています。この地から日本の食料を安全・安心と共に安定的に供給できる体制が構築できています。そして、日本の緑とおいしい水・空気を守っている地域でもあります。

今、規制改革推進会議のもと、巨大な権力と共に政治の圧力、過度的な報道の中でJA改革が進められ、JAの自己改革の評価が平成31年5月という期間を区切られています。戦後日本

の食糧増産確保を国の農政と一体化して推進してきたJAであります。今や地域の営農ばかりではなく地域での生活協同体的役割も担っています。国の大規模経営体中心の食料農政、経済界の貿易立国主義だけでは日本の生息系、緑が育むおいしい水、空気は守れません。この地域で生活し食料を大消費地に届けている誇りを「農は国の礎なり」そして「自然育む日本」をこの地域から発信するため、JAの基盤強化に取り組んでいきます。

地産地消のお店

牧場のレストラン

住所 大東町大原字山口 51-139
電話 0191-72-2123
営業期間 4月～11月末日
営業時間 午前11時～午後4時
(午後3時ラストオーダー)
定休日 火曜日



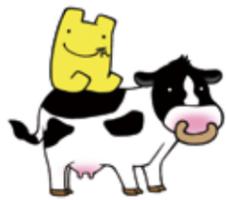
【お店から一言】

爽やかな風がそよぐ広大な室根高原にある当店は、雄大な自然を見渡しながら食事ができるレストランです。やわらかくてジューシーな生ラムのジンギスカンをメインとしています。米と野菜はできるだけ地元産を使用。いわいどりや地元産のホルモンなども準備しています。お勧めは、Aコース 牧場のファミリー焼肉セット(生ラム、ラムスライス、エルンテソーセージ、いわいどりの盛り合わせ)(=写真)。ジンギスカン以外にもカレー、ピッツア、パスタやソフトクリームなどもございます。子ども会でのご利用や宴会のご予約なども承りますので、お気軽にお問い合わせください。皆さまのご来店をお待ちしております。

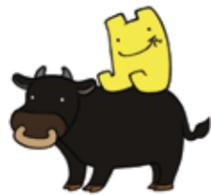


Aコース「牧場のファミリー焼肉セット」(2〜3人分) 3300円(税別)

第4回一関地方畜産共進会開催のお知らせ



一関地方畜産共進会実行委員会は、第4回一関地方畜産共進会を開催します。管内の畜産農家が手塩にかけた自慢の愛牛を出品し日頃の飼養管理の成果を競います。多くの皆さまのご来場をお待ちしております。



- 日時 7月14日(金) ホルスタイン種の部
15日(土) 黒毛和種の部
- 場所 一関市川崎町大久保工業団地敷地内
- 主催 一関地方畜産共進会実行委員会
(JA、一関市、平泉町、JA酪農部会、JA和牛生産部会)



詳しくは、JA畜産課 ☎ 75-3313 (東部)、23-6735 (西部) まで

ふれあいジュエリー総合衣料展2017開催のお知らせ

- 日時 7月6日(木) 13:30 ~ 20:00
7日(金) 10:00 ~ 20:00
8日(土) 10:00 ~ 17:00

- 会場 ベリーノホテル一関 (2F 磐井の間)
一関市山目字三反田179
☎ 0191-23-1000

ご来場者特典

- ①ジュエリー工房
- ②お買い上げ記念品
- ③ケーキ&ドリンクサービス

特別提供品

片岡鶴太郎「四季彩小鉢揃」

ご来場時、会場にて引換券と交換してお渡しさせていただきます。



※展示会場への入場には、パスポート券1,500円(税込)が必要です。

お問い合わせは、各支店・営農経済センターまたは生活課 ☎ 23-3009 まで

JAいわて平泉 理事会だより

次の事項について審議され、原案通り可決されました。

第2回 4月28日開催

▶定款の一部変更▶規約の一部変更▶役員(理事)の選任▶平成29年度経費の賦課及び徴収方法▶平成29年度理事に支払う報酬の額の決定▶平成29年度監事に支払う報酬の額の決定▶第3回総代会提出議案▶第3回総代会招集通知、委任状、議決権行使書▶平成28年度決算修正、事業報告及び剰余金処分の承認▶全国農業協同組合連合会が行う農業経営事業に関する同意▶平成29年度米販売対策費収支計画書の設定▶平成29年度農政・広報対策活動資金の拠出▶平成29年度産出荷契約米共同計算に係る重要事項の決定▶平成29年度事業計画・第2次中期経営計画並びに第2次農業振興計画▶固定資産の取得▶職制規程の一部変更▶JAいわて平泉第二次黄金の郷づくり推進対策事業実施要領の設定▶介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号訪問事業運営規程等の設定▶一関市北上川治水地権者会理事の推薦▶有限会社JAレポート取締役の派遣▶利益相反取引(花卉前渡金、水稲育苗委託)▶農家組合に係る各種統一▶利益相反取引の承認(購買品売買取引)

第3回 5月30日開催

▶行政報告用業務報告▶宅地等供給事業実施要領の一部変更▶改正個人情報保護法を踏まえた規程類の一部変更および廃止▶小野寺キイ子理事に係る担当委員会の決定▶平成29年度理事の個別報酬の決定▶農家組合に係る各種統一▶常務理事の業務引継ぎに係る立会人の決定

お詫言と訂正
5月号3ページ下部の藤沢市民センター・黄海岸分館の住所に誤りがございました。正しくは「一関市藤沢町黄海岸54-1」です。お詫言申し上げます。

家の光ニュース ~2017年7月号~

特集
なるほど!子育て 孫育て

FMあすもJA番組
「そ〜じゃ〜い〜じゃ〜」
毎週金曜日お昼12時40分〜絶賛放送中!



別冊付録
まんが10分で分かるJAのなぜ? 「誤解・勘違いを解消しよう!」編

JAバンク岩手 サマーキャンペーン2017

平成29年6月1日(木) ~ 8月31日(木)

新規で始めるなら 今がチャンス!

定期貯金の新規預入 10万円以上
ご成約で、もれなく!

定期貯金 [適用金利] **+0.1%** 上乗せ!

さらに **チャンス!**

定期貯金の新規預入 10万円以上
定期積金の新規契約 20万円以上

どちらかご成約により先着で!

left・CHORIS / ちよリス フロストボーテ プレゼント!

県内合計17,835名様



定期貯金・定期積金の新規ご成約と同時に /

JAカード 公共料金 JAネットバンク

上記のうち1つ以上新規お申し込みで!

夏に嬉しいグッズ最大3点プレゼント!

1つのお申し込みにつき左記のA~Cより1点お選びいただけます。

詳しくは、JA各支店までお問い合わせください。

女性農業者等オペレーター育成研修会

これからの農業を担う、女性農業者・新規就農者等を対象に農業機械に関する研修会を開催します。農業機械のプロが個別指導しますので、未経験者も歓迎です。お友達を誘ってご参加下さい。

- 日時: 平成29年6月30日(金) 10:00 ~ 15:00
- 会場: 岩手県立農業大学校(金ヶ崎町六原字蟹子沢14)
- 会場への移動はバスを用意します。
- (①千厩分庁舎: 8時20分集合、②一関合同庁舎: 9時集合)
- 募集人員: 16人(先着順、参加費は無料ですが昼食代はご負担いただきます)
- 座学研修: 農機具の保守管理と農作業安全について
- 実技研修: トラクター・草刈機等の基本操作 講師: 岩手県立農業大学校・丸山製作所
- 主催: 一関地方農林業振興協議会



お問い合わせ・申し込み先 JAいわて平泉営農振興課
西部営農振興センター ☎ 23-9176 担当: 伊藤
東部営農振興センター ☎ 75-3311 担当: 三浦

皆さんの声、お届けします!

- 今年も無事に田植えが終わりしました。新しく家族が増えるので、お米がたくさん取れるとうれしいです。
大東町 Kさん (50代)
- 心待ちにしていた桜もあつげなく散り、山々の若葉も日増しに色濃くなり、今年も農作業の季節となり、忙しく動き回っています。
東山町 Tさん (70代)
- 田植えがやつと終わり次は畑の作業。周辺は草ぼうぼう、農作業はなかなか待つてくれません。
花泉町 Aさん (80代)
- クマの出没とても怖いです。ちなみにカモシカは今年3回見ました。
真柴 Mさん (60代)
- 毎年忘れずやってくるツバメ。幸せを運んできてくれてありがと。
藤沢町 Mさん (90代)
- 冬場は野菜が高いのでキュウリの冷凍保存をやってみます。
弥栄 Iさん (50代)
- 今年も孫の好きな夏野菜を数種類植え、お盆に帰省した時に収穫する姿を楽しみにしています。
滝沢 Sさん (60代)
- 昨年はハクビシンにトウモロコシを全部食べられたので今年には植えない予定だったけど、家庭菜園を見てやっぱり植えることにしました。
平泉町 Sさん (70代)
- ぼたん祭りに行き、ボタンの花の大きさと、その美しさに驚きました。
花泉町 Uさん (70代)
- 何十年も前から娘と海外ドラマにはまっています。「刑事コロンボ」名作です。
千厩町 Yさん (70代)

気になるあの娘

vol.39 *Ja*
こまち

より良いケアを目指して

花泉町油島 武田 麻華さん 21歳

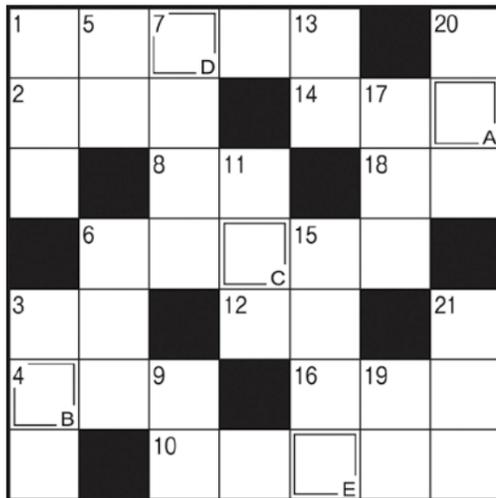


高齢者グループホームいこいの華で認知症介護の仕事をしています。将来、人の役に立つ仕事に就きたいと思っていました。この施設で職場体験をし、ここで働きたいと思いました。どのように接したらよいか悩んだ時もありましたが、利用者さんとの関わりを通して、信頼関係を築きまっす。向き合うことの大切さに気付く事ができました。利用者さんがどのような人生を歩んでいかれたのかを家族からうかがい、利用者さんが自分らしくいられるように手助けをしていきたいと思っています。今、介護福祉士の資格取得に向け勉強中です。利用者さんに信頼され、より良いケアができるように頑張ります。

休日はよく出掛けます。今一番行きたいところは、東京ディズニーランドです。時間をみつけていろいろな所を旅行したいです。

クロスワードパズル

クイズ 二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?



正解者の中から10名の方に図書カード(500円券)をプレゼントします。

郵便はがきの裏に次の①~③をご記入の上ご応募ください。
① クイズの答え ② 身近な話題や本誌へ一言 ③ あなたの住所、氏名、年齢

〒021-0027 一関市竹山町7-1
JAいわて平泉 総合企画課 まで

ご応募はFAX (21-0242)、Eメールでも受け付けます。
Eメールアドレス kosheru@ja-iwatehiraizumi.or.jp

締切日 平成29年6月23日(金) (当日消印有効)
皆さまからのご応募お待ちしております。

タテのカギ

- ① 身を立てて故郷へ——を飾った
- ③ 肩や腰が痛むときに貼ることも
- ⑤ 傷や病気が治ること
- ⑥ 「これが生命線、これが運命線……」と見ていきます
- ⑦ るくる首やのっぺらぼうなど
- ⑨ 梅雨どきには差す機会が増えます
- ⑪ 漆で描いた文様に金粉などを付けて仕上げます
- ⑬ 釣った魚を入れます
- ⑮ お酒よりもお菓子が好きな人
- ⑰ 本当にあったこと
- ⑲ つるべで水をくみ上げます
- ⑳ 1階建ての建物のこと
- ㉑ 居酒屋や料理屋の入り口によく下げられています

ヨコのカギ

- ① 6月の第3——は父の日です
- ② 収穫物を——・優・良に仕分けした
- ③ 梅干しの色付けにも使われる葉野菜
- ④ 止まらずに行ってしまう
- ⑥ 近付くと雨が降りやすくなります
- ⑧ 草を刈るときに使います
- ⑩ 長崎の麺料理。ちゃんぽんと並ぶ名物です
- ⑫ 願い事を書いて奉納する板
- ⑭ ナガス、マッコウ、ミンクといえは
- ⑯ お手洗い、ご不浄などともいいます
- ⑱ 鬼が出るか——が出るか

▼5月号の答え



5月号の答えは「マーガレット」でした。当選者は次の方です。

おめでとう!!
今月の当選者

- 佐藤 芳子さん (萩 荘)
- 藤本 千二さん (厳美町)
- 鈴木 枝美子さん (花泉町)
- 岩 渕 さき子さん (花泉町)
- 干 泥 まり子さん (千厩町)
- 菅原 昭子さん (千厩町)
- 及川 淳子さん (大東町)
- 鈴木 ミキ子さん (東山町)
- 高橋 郁子さん (藤沢町)
- 小山 房子さん (室根町)

※ご応募いただいた個人情報は、当選者へのプレゼント発送に利用させていただきます。また、お寄せいただいた身近な話題は「皆さんの声、お届けします!」コーナーに掲載させていただく場合があります。



二人そろって健康が一番

一関市萩荘 熊谷 和夫さん (66)
和子さん (64)



昭和50年 鎌倉にて

熊谷さんご夫婦は昭和50年3月に結婚しました。2人の子どもに恵まれ、現在は息子夫婦と3人の孫に囲まれにぎやかに暮らしています。

和夫さんは長年勤めた会社を退職し、平成27年から萩荘江川地区の農家組合長として地域の営農振興に力を注いでいます。

和子さんはJA女性部萩荘支部長を務めて5年目となります。部員の信頼も厚く精力的に活動しています。忙しい毎日を過ごす二人の楽しみは孫の成長を見守ること、知人と旅行に出かけること。「今、旅行の計画を立てているところ」と楽しそうに話してくれました。

「二人そろって健康が一番!」と力強く語ってくれた和夫さん。いつまでも仲良く共に暮らせるように、好きな間食を控え健康を気遣います。



まんが:じっく



第38話 コロンブスと共に大海へ

主人公の岩井耕太君は、現在地元の小学校に通う男の子。将来新聞記者になるため、地元の農畜産物の魅力について、勉強中です。農業にはまだまだ知られていないことがたくさん！今月はキャプテン・スマイルとキャロ船長が初登場。タマネギやニンジンなど需要が高まる加工用野菜は、大航海時代にも大活躍したそうです。頼りになる2人に今後も注目です！



編集後記

▽今年もクマ出没のニュースが増えてきました。一関市の統計によると市内における2016年度の出没情報は15年度に比べ197件多い399件で統計開始の12年度以降で最多とのこと。中でも一関、大東両地域が全体の7割を占めています。農作業など外での作業時は周囲に注意を払い、ラジオなど音が出るものを携帯しクマに出会わない対策を行い、被害に遭わないように十分に気を付けましょう。
(伊東)

▽管内の小中学校などが取り組んでいる学習田の田植えやバケツ稲の移植も終わり、活着後の成長には目を見張るものがあります。今年は私もバケツ稲の栽培に挑戦していますが、無農薬栽培のため雑草が生え虫も遊びに来てしまいました。稲の成長と共に雑草や虫の観察もしていきたいと思えます。JA本店にお越しの際は、皆さんにも稲の様子を見てほしいですね。アドバンスなどお待ちしております。
(浅利)

